

令和6年度 年間学習指導計画案

科目	論理国語	単位数	3単位	学年・学科・コース	3年・普通科・スポーツコース 3年・衛生看護科
使用教科書	東京書籍「精選論理国語」		副教材等	「精選論理国語 学習課題ノート」	

1. 学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</li> <li>・論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになる。</li> <li>・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</li> </ul>
---------	---

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けることができる。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養うことができる。

2. 学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容（ねらい）	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
4 5	日本人の美意識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図を適切に参照し本文中の対比を捉え、日本と西欧の美意識の違いを理解する。</li> </ul>	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・「読むこと」において、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。</li> <li>・粘り強く二項対立の論理展開を資料と結びつけて理解し、学習の見通しをもって日本人の美意識と生活行動の関連性について、自分の考えを深めようとしている。</li> </ul>	授業態度 発問評価 定期考査 成果物 課題
				○			
					○		
6	言語と記号	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論の展開を意識して主張を理解し、言語に対する筆者の考え方と自己の考え方を比較する。</li> </ul>	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。</li> <li>・粘り強く具体例と筆者の主張の文章構造をつかみ、学習の見通しをもって言語の持つ文化形成力について、自分の考えを深めようとしている。</li> </ul>	
				○			
					○		
7 8	社会の壊れる時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事例と引用を用いた論の展開を確かめながら主張を捉え、知性の意義について自分の考えを深める。</li> </ul>	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。</li> <li>・粘り強く具体例や引用と筆者の主張の関係を捉えて論理展開を理解し、学習課題に沿って社会の現状と結び付けて、「知性的」であることの必要性を、具体例を挙げながら述べようとしている。</li> </ul>	
				○			
					○		

月	学習項目	学習内容（ねらい）	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
9 10	抗争する人間	・人間の社会性と倫理観についての筆者の考察を理解し、人間に対する理解を深める。	○			・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	授業態度 発問評価 定期考査 成果物 課題
				○		・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。	
					○	・進んで人間の社会的欲望と倫理的努力に対する筆者の主張を読み取り、学習課題に沿って他者との関係性の構築について、自分の考えを述べようとしている	
11 12 1	原始社会像の真実	・時間的に異なる世界を題材とした評論を読み、社会の変遷を捉える見方を身につける。	○			・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。	
				○		・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。	
					○	・進んで原始社会の見方についての筆者の主張を理解し、学習の見通しをもって社会に対する歴史の見方や考え方を深めようとしている。	